

学校運営計画 (4月)				
学校運営方針	高校生活を通して、確かな学力を身につけ豊かな人格と健全な身体を育み、グローバル社会を生きぬく国際感覚を磨く。			
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	評価	
<p>昨年度の合格状況は、国公立大学合格者4名と私立大学合格者に比べ低かったため、本年度はさらに国公立大学合格者を増やしたい。</p> <p>また、新2年生が大学受験を迎えるときに、入試改革にあたるので、最優先で準備を進めたい。就職は順調に結果を出しているが、気を緩めずに指導にあたっていきたい。</p> <p>本校入試においてはグローバルコースを中心に成績優秀者が入学したが、引き続き募集に力を入れたい。また、全体的なレベルアップも図って行きたい。</p> <p>地元との連携強化は一層おし進める。地方の私学こそ地元の信頼を得ることが大切である。今後とも地域・地元中学校と積極的に関係を保ち連携を強めたい。</p>	学習指導の充実	教科指導の充実	○アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れた授業実践。 ○グローバルコースを中心とした英語力の強化を図る ○家庭学習の充実を図る。	
		教員の研鑽	○年間授業計画案に基づく計画的な授業展開。 ○授業にのぞむにあたり十分な教材研究を行う。 ○各教科ともに定期的に研究授業を行い、発展的内容を深める。 ○校外の研修に積極的に参加する。	
	進路指導の充実	きめ細やかな進路指導	○生徒一人ひとりの希望に応じた進路を決定する。 ○十分な時間をかけ生徒一人ひとりの適正を判断する。 ○生徒自身の進路に対する意識を高める。	
		計画的な進路に関する行事	○大学見学, 体験学習, 職場見学など, 年間を通して計画をしっかりと立てる。	
	生活指導の徹底	基本的な生活習慣の確立	○高校生として基本的な生活習慣を身につけさせる。	
		他者への思いやりの気持ちを育てる	○他者への偏見や差別, いじめをなくし, 思いやりの気持ちを育てる。	
		安全教育の充実	○交通安全教育・薬物乱用防止教育・防災教育・SNS適正利用教育を充実させる。	
	その他	特別活動の充実	○ホームルーム活動, 生徒会活動, ボランティア活動などを通して心身の成長を促す。	
		部活動を通じた人格形成	○部活動を通して, 心身ともに健全な人間を育てる。 ○部活動を通して, 全校一体感をつくる。 ○部活動を通して, 協調性・自律心・規律を遵守する精神を育む。	
		情報セキュリティ	○個人情報保護の重要性を認識し, プライバシーポリシーを遵守する。	

評価項目		具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
教 科	国 語	生徒の基礎学力を向上させる	辞書を引く習慣を身に付けさせる。		
			教科書の漢字の書き取りができるようになる。		
			漢字検定を積極的に受けさせる。		
			他者に理解しやすい文章を書けるようにする。		
		授業の改善	一人ひとりの生徒の学習状況や理解度の把握に努め、授業に活かす。		
			一方的な授業ではなく、双方向の授業になるように努める。		
			担当している生徒やクラスのGTZを向上させる。		
			他教員の授業見学を積極的に行う。		
	地 歴 公 民	基礎学力の向上	授業内容に関することを生徒が自主的に調べるようにさせる。		
			生徒に板書事項をノートなどに確実に記録させる学習習慣をつけさせる。		
		地理・歴史への関心の向上	視聴覚教材や新聞などを用いて生徒の興味・関心を高める。		
			生徒の興味・関心があるものを題材として授業を展開する。		
		生徒の表現力の向上	理解不足の生徒が自主的に質問に来るような環境をつくる。		
			生徒のプレゼンテーション能力を向上させる。		
	数 学	基礎学力の向上	単元ごとに課題を提出させて、生徒の文章表現能力を高める。		
			定期的な小テスト等を実施し、基礎学力の向上、定着を図る。		
		家庭での学習習慣の定着	授業中の声かけ、机間指導を通して、生徒の学習理解度を把握する。		
	外 国 語	基礎学力の向上	教科書やプリント等から宿題を与え、予習・復習の習慣化を図る。		
授業内で復習テストや単語テストなどを定期的に行う。					
英語力の更なる向上		授業進度、発問内容、課題、アクティビティなどがクラスごとの習熟度・技能に合っているか定期的に点検し理解度を測る。			
		実用英語能力検定などの受検を奨励する。また、必要な対策を授業・補習・講習を通して行う。			
		英語が得意な留学生との英語での交流機会を増やして、日常的に英語に触れさせる。			
家庭学習の習慣化		スピーチコンテスト等への参加を促し、準備・指導を行う。			
		アメリカでの修学旅行に向けて、実践的な英語のコミュニケーションの指導を行う。			
授業の工夫と改善		ワークブックを用いて予習と復習を徹底しつつ、定期テストに向けた振り返り学習の指導を徹底する。			
		実力テストに向けた計画的学習と振り返り学習の指導を徹底する。			
		実力テストの振り返りを通して、授業・指導の効果を測定し、改善に役立てる。			
	授業公開で授業の評価・分析を相互に行ったり、定期的な教科会議で教材やアクティビティの共有をして、個々だけではなく、全体で指導力の向上に努める。				
	4技能を高めるための授業研究会や研修会に積極的に参加し、教員同士の勉強会を行う。				

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題	
教 科	理 科	教科書の内容と最新の科学技術や自然現象を示し、知的好奇心や探求心を喚起させる。			
		授業内での発問により、生徒の意見を多く発言させる。			
		課題を通して、各グループの発表内容を他者にも伝え、興味関心を喚起させる。			
		科学的な見方や考え方を育成し、問題解決能力を向上させる	実験、ICTの活用を通して、生徒の理解を助ける工夫をする。		
			課題やワークシート(宿題)を活発化させ、授業内容の復習を徹底させ、理解度を上げる。		
			グループで科学的課題に取り組み、発表の場を設ける。		
	保健体育	生徒が自主的・意欲的に取り組める環境の整備	グループ活動により、各グループの課題や個人の課題に沿った練習内容を考え実践させる。		
			運動に積極的に取り組めるような活気あふれる雰囲気づくりを目指す。		
		健康の保持・増進のための基礎体力の向上	自己の体力や生活に応じて、運動を継続的に行う習慣をつけさせる。		
			体力テストや健康診断の結果をもとに個々の目標を設定させ、日々の生活で実践する。		
		生涯を通して運動に親しむ資質や能力の向上	各種運動の特性に触れ、その運動の楽しさや喜びを感じられるようにする。		
			生徒の能力・適正、興味・関心等に応じて種目を選択し、指導法を工夫する。		
家庭基礎	指導方法・授業展開の研究	生徒が主体的に学習意欲をもって取り組めるような指導方法を日々研究し、授業に取り組む。			
	生活に必要な知識・技術の習得	家庭生活を創造する上で必要な知識や技術を習得させ、生徒自身が実践の中で活用できるような力を育む。			
情 報	基礎学力の理解と向上を図る	ノート、課題を定期的に提出させ、的確に学習状況を把握する。また、コンピュータを効果的に活用する技術を身に付ける。			
		ネットワークを利用する上でのルールやマナーを理解させる。			
	授業への意欲の向上を図る	生徒個々のレベルに合わせて課題を出し、成果を的確に評価する。また、身に付けた基礎知識を将来の活動に生かせるように指導する。			
芸 術	授業において芸術の幅広い活動を展開	実践的・体験的な諸活動を多く取り入れ、表現力を磨く。			
		様々な作品から作者の意図を読み取り、芸術作品の奥深さを知る。			
		生徒一人ひとりがそれぞれの興味・関心や個性を生かして、主体的にかかわっていけるように支援する。			
	生涯にわたり芸術を愛する心情の育成	幅広い教材を取り上げ、生徒に持っている芸術的な価値意識を一層拡大できるようにする。			
		生活を明るく豊かにする創造活動をしていくための基礎となる能力・資質を育てられるようにする。			
	我が国の伝統や諸外国の芸術・文化についての関心や理解の探求	日本の伝統音楽に触れる(音楽)			
西洋と日本の作品の比較をし、日本伝統美術の独自性を考察させる(美術)					
それぞれの分野の歴史やその背景について学ぶ時間をつくる。					
	それぞれの美しさや多様性が感じ取れるように努める。				

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
渉外部	PTA活動の推進	各種行事に多数の保護者が積極的に参加できるように働きかける。		
		各種研修に積極的に参加する。		
	広報活動の充実	広報誌等の内容を吟味し、その内容の充実に努める。		
入試広報部	中学校との信頼関係に基づく入試体制の確立	中学校を窓口とする丁寧な入試業務を行う。		
		中学校教員と連絡を取り、そこで得た情報を基に入試制度を改革する。		
	中長期的展望に立脚した入学者数の確保	定期的に小学校・中学校・塾・予備校に訪問し、本校教育の啓蒙に努める。		
		グローバルコースを中心にレベルアップを図る。		
広報活動の充実	ホームページ・パンフレット・ポスターを魅力的なものにする。			
	学校見学会・入試説明会など様々な広報活動を通して、本校の魅力を十分に伝える。			
生徒指導部	基本的生活習慣の確立	規則正しい生活リズムの確立・維持を図る。		
		頭髪・服装の徹底・意識の確立を図る。		
		一般常識を十分に理解し、正しい判断力の育成に努める。		
	生活・交通安全の推進	関係機関との連携を図り、講演会や指導など実施する。		
		自転車の防犯登録の徹底および免許取得規定の厳守を図る。		
		校外指導を実施し、交通事故防止に努める。		
	情報モラル教育及び有害情報対策	講演会を実施し、有害情報をより具体的に生徒へ提示する。		
		外部の研修会など積極的に参加し、最新の情報を常に取り入れ、生徒へ伝達する。		
	薬物乱用防止教育の推進	警察との連携を密にし、情報交換を行う。		
		講演会を実施し、最新の情報を取り入れ、生徒へ伝達する。		
	いじめ防止対策	いじめの未然防止に関する取り組みを実施する。		
		いじめの早期発見に関する取り組みを実施する。		
		いじめ解決に向けた教員の指導体制を確立する。		
		いじめの再発を防止するための取り組みを強化する。		
いじめの取り組みについて関係機関との連携を強化する。				
寮生部	安全管理	避難訓練を定期的実施することで災害時に備える。		
		外出、外泊の届け出を徹底させ所在の把握をする。		
	基本的生活習慣の確立	巡回を行い、戸締まり・消灯・清掃状況等のチェックをし、点呼で指導する。		
		定期的大掃除を計画し環境美化に努める。		
		1日6回の巡回を行い、戸締まり・消灯・修繕箇所等の確認をする。		
	学習習慣の定着	学習時間に巡回を行い学習習慣を身につけさせる。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
保健環境部	学習環境の整備	教室黒板・掲示物・窓枠網戸・清掃用具入れの点検・整備をする。		
		机・椅子・教卓・黒板消しクリーナーの保全・点検をする。		
	環境美化意識の育成	環境美化委員会を動かして校内の美化に努める。		
		資源ごみ・可燃ごみなど分類の徹底を図る。地域清掃にも取り組む。		
	防災・避難訓練の充実	防災総合避難訓練・緊急地震速報による訓練などを実施する。		
		地域の関係機関と連絡を取り合い、防災への取り組みを開始する。		
心身の健康管理能力の育成	定期健康診断や保健教育を計画的に実施する。			
	積極的に学校行事に参加させ、活動を通して仲間づくりを促す。			
健康・安全教育の充実	面談・相談を通じて生徒の健康問題に早期に対応する。			
	保健・安全に関する情報発信を積極的に行う。			
教務部	主体的で深い学びに向けた授業改善	育成したい力を明確にし、その力を育成するための具体的な手立てを明らかにした研究授業を実施する。		
		授業アンケート等の実施をする。		
進路実現のための学力向上		本校の現状にあった教育課程を検討・編成する。		
		教務規定の見直しを引き続き行う。		
情報管理部	ICT環境の学術的利用を生徒に促進	校内ICTおよび高速無線LAN環境の利便性を向上させるとともに、セキュアな運用を継続する。		
		生徒指導部、情報科と連携して生徒のSNS等のモラル教育を推進しつつ、Classiの有用性を高め、Japan e Portfolioの理解・習慣化を学年団・進路と連携して行う。		
		一人一台ノート型PC導入に向け、機器選定などのハード面先行でなく、その活用や授業改革と合わせてソフト重視の検討を各部署、教科と連携して行う。		
		ICT教室(一人一台ノート型PC利用)を活用して多くの知見を収集し、全生徒導入に向けた重要な判断が適切に行えるようにする。		
	教員の業務効率化と情報資産・ICT環境活用を促進	アクティブラーニング型授業とClassiによる学習を学年団・教科と連携して推進し、教員の活用の幅を広げていけるよう環境整備や情報提供を行う。		
		校務システムを機能拡張し、業務効率化、ヒューマンエラーの低減をさらに推進する。		
	情報漏洩等のインシデントゼロを達成	職員へのセキュリティ啓発を継続し、ヒューマンリスクを未然に回避する。		
		情報漏洩防止、アクセス権の設定、暗号化の利用などの対策を行い、機密性(情報資産を正当な権利をもった人だけが使用できる状態にすること)を維持する。		
		改ざん防止、検出などの対策を行い、完全性(情報資産が正当な権利をもたない人により変更されていないことを確実にしておくこと)を維持する。		
	学外(地域、海外)への情報発信を強化	電源対策、システムの二重化、バックアップ、災害復旧訓練を行い、可用性(情報資産を必要ときに使用できること)を維持する。		
SNS等、学校に関連する情報をいち早く収集し、迅速な対応につなげる。				
ホームページのコンテンツを随時更新し、学校活動の様子を公開していく。				
多くの職員が学校活動のPRに関われるよう整備・推進する。				
		海外の方が本校を理解し、興味をもっていただける情報を公開していく。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
国際部	留学を通じた国際理解	学校内での活動を通して、留学生と本校生徒の活動を通して相互理解を図る。		
		クラス担任・学年主任と連絡を取り合い、クラス活動の把握をする。		
	学校生活のルール尊重	学校生活・寮生活を通じて、本校のルールを守り、基本的生活習慣を身に付ける。		
		学校生活に不安を抱える生徒は保護者に連絡をし、保護者の協力をもらう。		
	日本の文化・習慣への対応	アクティビティーを行い、日本の文化に触れ、個人の価値観を広げ豊かな人間形成を行う。		
安心・安全の留学生生活	留学生に報告・連絡・相談を促し、留学生の進路のみならず日本の生活・校内生活に対して不安を取り除く。			
進路指導部	主体的な進路選択の支援	進路ガイダンスや学年集会を通し、進路への意識の向上を図り、希望進路実現のために何が必要かを考えさせる。		
		多様な進路希望に対応できるよう、進路指導室の資料やPC環境を充実させ、利活用を促進する。		
		生徒面談や三者面談によって、生徒一人ひとりの希望・適性に合った進路相談を行う。		
		総合的学習や大学見学、卒業生を囲む会などを通して、3年間を見通した進路指導を行う。		
	希望進路実現のための支援	生徒の希望進路実現のために、教員一人ひとりが授業の質をを向上させるとともに、各教科で授業研修を行い、全体としての指導力向上に努める。		
教育相談	問題を抱えた生徒への校内研修の充実	問題を抱えている生徒の早期発見と対応に努め、教育間の情報の共有化と共通理解を図る。		
		多様化する生徒に応じた研修を行う。		
		実力テストや模擬試験の結果を分析し、進路指導部・学年・教科で共有し指導の向上に活かす。		
図書室	利用者数の増加	「図書便り」を継続発行し、図書室の利用促進と認知度を高める。		
		図書資料のデータベース化により、資料の管理を図るとともに、利用者拡大につなげる。		
		生徒や教員にアンケートを行い、ニーズに合った図書室づくりに取り組む。		
	本に親しむ環境づくり	図書室内の配置を工夫し、利用しやすい環境づくりに努める。		
		学習・読書の情報センターとして、機能的なニーズを図る。		
図書委員会の活性化を図る。				
事務室	補助金対応	各補助金の告知、申請を的確に行う。		
		補助金に関する書類の案内、保管、管理を行う。		
	生徒・来客・電話対応	明るく丁寧な対応とともに、気遣いを心がける。		
		言葉遣いに注意し、相手に不快な思いをさせない。		
	個人情報管理	生徒・保護者、教職員の個人情報には細心の注意を払う。		
各種証明書の発行において不備がないようにする。				
強化部	心身の健全な発達	全国大会出場を常に念頭においたチームづくりに専念する。		
		優秀な生徒(選手)を一人でも多く入部させる募集活動を積極的に行う。		
		他の生徒の模範となる生徒(選手)を育てる。		

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度への主な課題
第1学年	学習環境の整備と進路の実現に向けた指導	礼儀を重んじ、社会貢献ができる人間形成を目指す。		
		何事にも意欲的に取り組むことができる環境をつくる。		
	基本的生活習慣の確立	学年集会やHR活動を通して、時間厳守、基本的生活習慣の確立に努める。		
		学年集会やLHR、学校行事等を通して模範意識の向上を図る。		
	学習習慣の定着	毎日の授業にしっかり取り組み、基礎学力を身に付け、家庭学習の習慣を身に付けさせる。		
進路指導の充実に努める	目標を持たせ、目標の実現のために努力の継続を促す。			
	課外、各種資格試験、進路指導行事を行い、自ら意欲的に進路について考える力を養わせる。			
第2学年	基本的生活習慣の確立	学年集会やLHR、総合的な学習の時間を通して挨拶や社会のマナーを身に付ける。		
		予習・復習などの学習時間を習慣化させる。		
	学校生活の充実	学校行事を通して生徒の自発的なクラス運営を働きかける。		
		部活動を通して豊かな人間形成を育む。		
進路指導の充実	LHR・学年集会・進路行事を通して進路目標を設定させる。			
	服装や頭髪、言葉遣いなど社会人としてのマナーを遵守させる。			
第3学年	基本的生活習慣の確立	高校生としての基本的生活習慣の徹底はもちろんのこと、進路指導と関連付けて社会人としてのマナーやルール(常識)についても認識・確率させる。		
	学校生活のまとめ	最上級生としての自覚を持たせ、下級生の模範となるような生活態度を確立する。		
	進路実現に向けての活動の促進と補助	受験スタイルに応じて学力の構築、志望理由書の添削、小論文・面接指導を徹底する。		